



不意のトラブルに備えてハードディスクの バックアップとリカバリーの準備を

★パソコンは使っているうちに動作スピードが遅くなったり、不意にWindows が立ち上がらなくなったりすることがよくあることです。 そのことに備えて事前に準備をしておくことが大切です。

■リカバリデスクの作成

新しくパソコンを購入したとき、付属の説明書には必ず『リカバリデスクを作成すること』と云う記事があります。続いて『リカバリの手順』についての記述があります。これはどこのメーカーでも必ず付属しています。しかし、この事前の作業を実行していない方が多いのです。 もう一度取扱説明書の上記の記述を確認し、まだであればすぐにリカバリデスクの作成に着手してください。(CDなら4~5枚、DVDなら2枚程度が必要です)

■ハードディスクのデータのバックアップを取っておく

ハードディスクのリカバリを実行するとパソコンを購入した時の状態に戻りますが、同時にハードディスクに大切な蓄えたデータもすべて消去されることになります。

そのために、定期的にハードディスクに保存してあるデータのバックアップを取る様に心がけましょう。例えば、デジカメで撮影した写真ファイルの保存、苦勞して作成した文書ファイル、インターネットのお気に入りのデータ、メールアドレスと交信記録などがあります(資料 20100217 No18 参照)

■バックアップ用に使用するメディアは何かよいか

- ①外付け用ハードディスク 最近は安価になりました メーカーはBuffalo , IOdataなどが多く種類もあり量販店のPC売り場 8000 程度で買えます。
- ②2~8GB程度ならUSBからフラッシュメモリーが経済的かもしれません
- ③永久保存を望むならCDまたはDVDが確実に安価でしょう
- ④もしパソコンを複数台お持ちなら同じデータを双方に保存するのもいいかもしれません。

■ハードディスクの記録領域の構成

